

平成 28 年 9 月 30 日

各 位

木津の文化財と緑を守る会
会 長 岩 井 照 芳

10・11 月行事予定表

拝啓 秋涼の候皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、木津川市や相楽郡は山城国・京都府でありながら、古代から近代までその歴史や文化は大和国と深く拘わり、大和との繋がりを無視しては間違った解釈になります。

そういう意味で、もう一度大和との関係を見直さなければいけないときではないかと感じ、その第一弾として「茶粥会」を企画いたしました。

大和文化の繋がりは祭りや言葉・食文化等ありますが、相楽郡には大和の「茶粥」が伝わっています。茶粥は近年ほとんど食べなくなりその記憶は薄れてきていますが、団塊の世代には懐かしい光景が思い出されます。子供のころ朝起きるとお婆さんが茶粥を炊いて「早よ、おかいさん食べて学校に行き」と朝食は茶粥と決まっていました。

この地で育ってない方は、粥といえば白粥のことを指し「病気のときに食べるもの」とのイメージがあると思いますが、茶粥はそうでなく朝食の常食でありました。また、「収入の良し悪し」で食べるもではなく全家庭で食していました。

今回は郷土の食を知るというテーマで実験的に会員と家族限定で行い、参加費も低額に抑えて参加者を募集しておりましたが、応募者が少なく再募集いたします。

記

10月9日(日) 郷土の食を知る「茶粥会と座談会・講演会」

茶粥内容： 茶粥、のっぺ汁（木津の郷土食）、おひたし、かまぼこ、たくあん

時 間： 12：00 時 ～ 12：45（昼食の間に食べ終る） 11：30（受付開始）

場 所： 東部交流会館

参加資格： 守る会 会員と家族（食事準備の都合上必ず申込み、飛込参加はできません）

募集人数： 30 組 60 名（申込書には参加者住所・電話・氏名を二人ともご記入下さい）

申込方法： FAX 0774（72）0014（木津の文化財と緑を守る会）

締切日： 10月6日（木）先着順に受け付けします

参加料： **300 円（一人分）** キャンセルでも参加費 300 円は頂きます

座談会： 13：00～14：00 ①なぜ茶粥昼食会を開いたか ②茶粥の炊き方
③茶粥の思い出話

講演会： 14：00～15：00

演 題 「大和の茶粥は 1300 の食遺産」

講 師 富岡 典子 先生（日本家政学会 関西地区委員）

備考：鹿背山城で採った竹でおかず皿を制作しました お持ち帰り下さい

11月5日(土) 第147回 「多聞院日記・木津町史を読む集い」

場所・時間：北別館 第2会議室 19時30分～21時30分

講師：田中 淳一郎 先生（山城郷土資料館資料課副主査）

参加費：300円

その他：多聞院日記の資料は事務局で用意いたします。

11月13日(日) 第7回 「鹿背山城何でも知ろうプロジェクトチーム会議」

場所・時間：庁舎 北別館 1階 第一会議室 13:30～17:00

議題：① 11/27(日) 第2回連続講座「城整備について」

② 12/11(日) 第3回連続講座「城案内について」

11月26日(土) 第84回 「ふれあい文化講座」

① 演題 「浄瑠璃寺の建築と庭園」— その信仰と美 —

講師 富島 義幸 先生（京都大学大学院准教授）

② 演題 「難波京の変遷をたどる」

講師 積山 洋 先生（大阪文化財研究所）

時間：開演13時30分～16時30分頃（開場13時00分から）

場所：木津中央交流会館（いずみホール）

参加料：無料

定員：180名（事前申込不要、先着順）

※ 守る会の役員は「ふれあい文化講座」準備のため、12時にいずみホールに集合です。

ご都合の悪い方は必ず岩井までご連絡下さい。

11月27日(日) 第2回 鹿背山城何でも知ろう連続講座 「城整備」

スケジュール

9:00 JR木津駅西側 バス停前集合 鹿背山城へ（徒歩）

9:30 鹿背山分校着（会員は直接校庭 集合可）

10:40 午前 鹿背山城 城整備開始 ～ 12:00 昼食

12:50 午後 鹿背山城 城整備開始 ～ 15:00 城整備終了

15:10 城整備後の反省会（鹿背山会館）

15:40 現地解散

その他： 会員の参加申込は不要。 整備道具類は当方で用意いたします